Cooperative Education Program

持続可能な社会の実現に向けて

KITコーオプ教育プログラム

大学×企業の共創による社会実装型人材育成

（プログラム詳細）

KIT | 金沢工業大学

学生が就業を通じて実社会の問題発見解決に挑む。「KITコーオプ教育プログラム」を推進

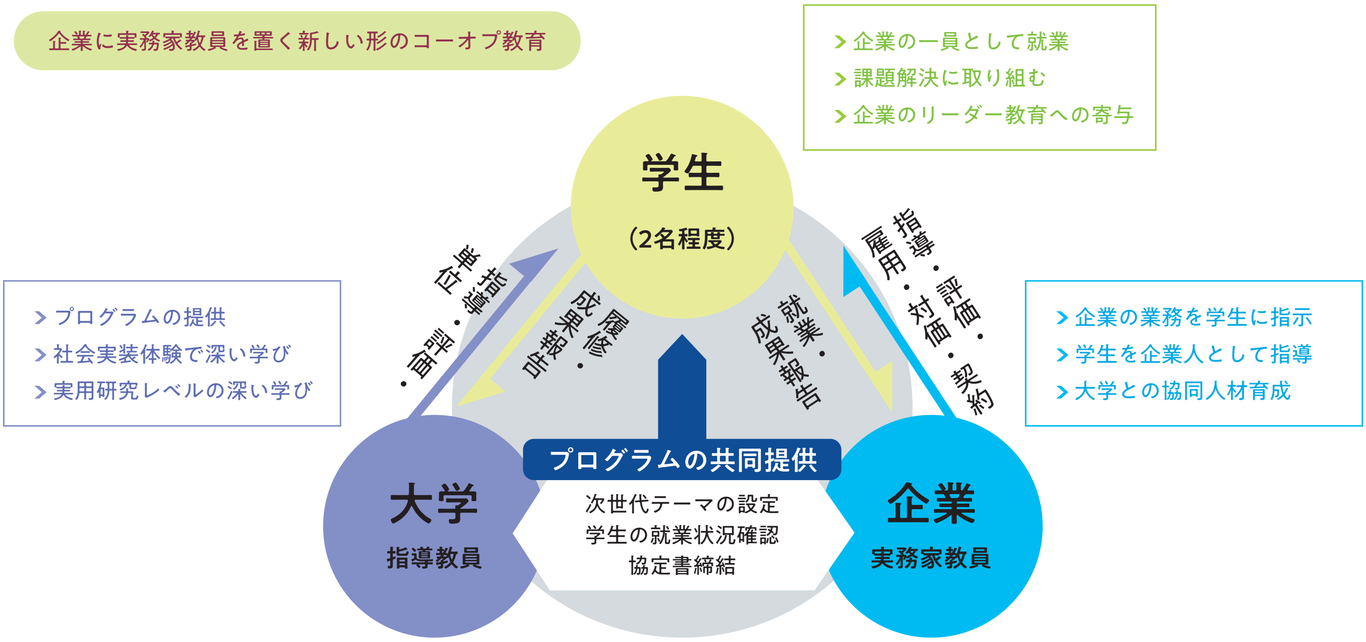
「KIT コーオプ教育プログラム」は、学生が企業の実際の業務に従事しながら企業がもつ最先端の技術について実践的に学び、社会と顧客に貢献する価値と行動を理解する、金沢工業大学独自の新しい産学協同型プログラムです。企業の第一線で活躍する技術者を「実務家教員」として招聘し、事前教育を実施します。

Society5.0 に向けて、産業界との協同によりイノベーションを創出する次世代リーダーを育成するため、世界産学連携教育協会（WACE：World Association for Cooperative Education）の世界標準コーオプ教育（CWIE）に準拠し、さらに独自性を付与してプログラムを設計。これからの産学協同型教育研究のスタンダードとなることを目指しています。

KIT問題発見解決型教育のさらなる実践型

「KIT コーオプ教育プログラム」は、国内外から高い評価を受けてきた独自の問題発見解決型教育「プロジェクトデザイン教育」を運用してきた、金沢工業大学が新たに取り組む正課プログラムであり、2019 年に導入、2020 年にスタートしました。

カリキュラムは大学と企業が共同で策定し、事前教育を受けた学生の中から選抜された学生数名が、数カ月間、企業の業務に従事します。学生は企業が持つ最先端の技術について実践的に学び、実社会の課題を扱った課題発見・解決に取り組むことで、理論と実践の両面を効率的に学ぶことができます。テーマは「データサイエンス」「サイバーセキュリティ」「カーボンニュートラル貢献の耐震構造材」「事業掛け合わせによる新規ビジネス創出」などさまざまです。



〈 KITコーオプ教育の仕組み 〉

KITコーオプ教育プログラムとインターンシップの違い

	KITコーオプ教育プログラム	インターンシップ
期　　間	長期間の雇用（約 4カ月間）	短期就業体験（1～2 週間程度）
教育内容	教育主導の正課教育。大学と企業が共同でカリキュラムを策定し、専門に関連した業務に従事する	企業主導による就業体験。プログラムは受け入れる各企業が策定する
対価の有無	報酬あり。企業は社員として学生を受け入れ、必要な業務に従事させ一定の期間内に成果が得られる形で実施	原則的に報酬なし
事前学習	大学のカリキュラムの一環として事前学習を共同で実施	就職活動に関連した講座のみ実施
評価方法	指導教員と実務家教員による総合的な学習評価を実施	主に企業担当者からの評価が中心

KITコーオプ教育プログラムの流れ

❶ 企業と大学の共同でテーマ設定

❷ 企業と大学で協定書等の締結

❸ 実務家教員（客員教員）の招聘

❹ 学内告知（寄附講座、事前課題、事前面談等）
　および事前教育を実施。公募型は説明会等を実施。

❺ 企業による学生の選抜

❻ コーオプ教育開始（企業での就業）

実務家教員（客員教員）の招聘について

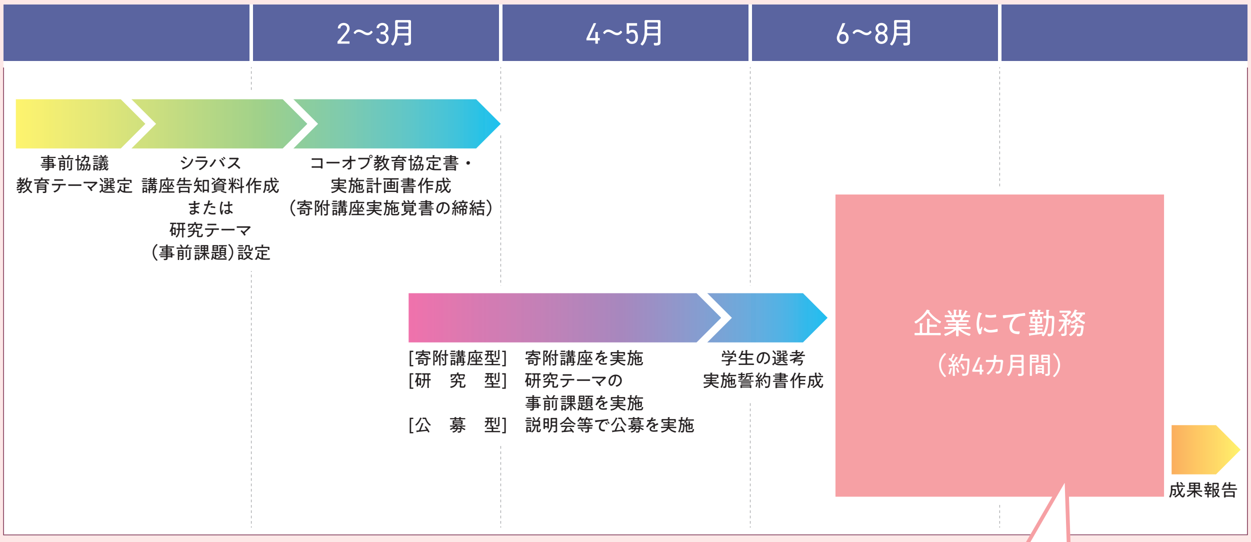
▷研究開発または事業・プロジェクトの取り纏め責任者（部長、課長、マネージャー等）で、おおむね５年以上の実務経験者を、実務家教員として招聘いたします。

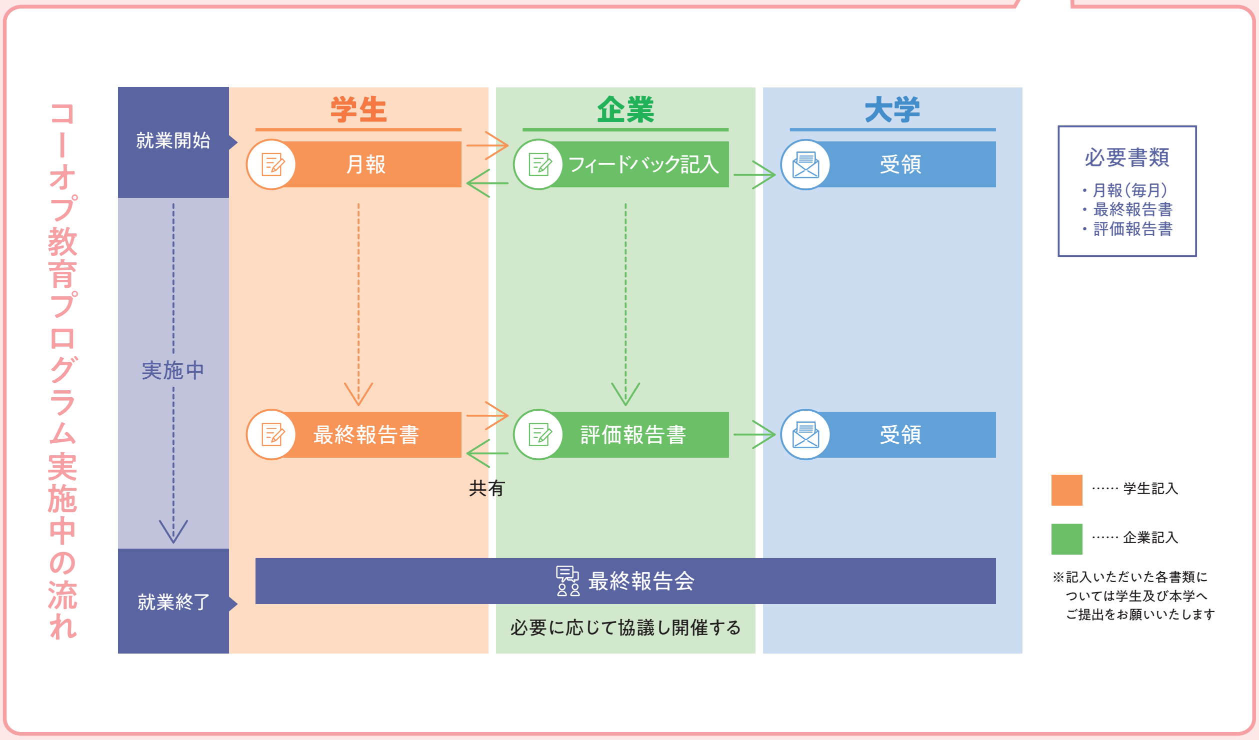
▷学生への教育の観点から、実務を自社内で教育していただく責任者となります。

▷実務家教員は、コーオプ教育を起点とした、企業と大学の教育研究の連携役となります。

KIT コーオプ教育プログラムは、
「寄附講座型」「プロジェクトテーマ（研究）型」「プロジェクトテーマ（公募）型」の３つの実施形式があります。

KITコーオプ教育プログラムの流れ（月は目安で、固定されるものではありません。）





KITコーオプ教育プログラムの事例

寄附講座型

コーオプ教育のテーマに関連した寄附講座を開講。座学と課題を通して学生を事前に教育し、その後、課題や面接を経て選抜された学生がコーオプ教育に参加します。

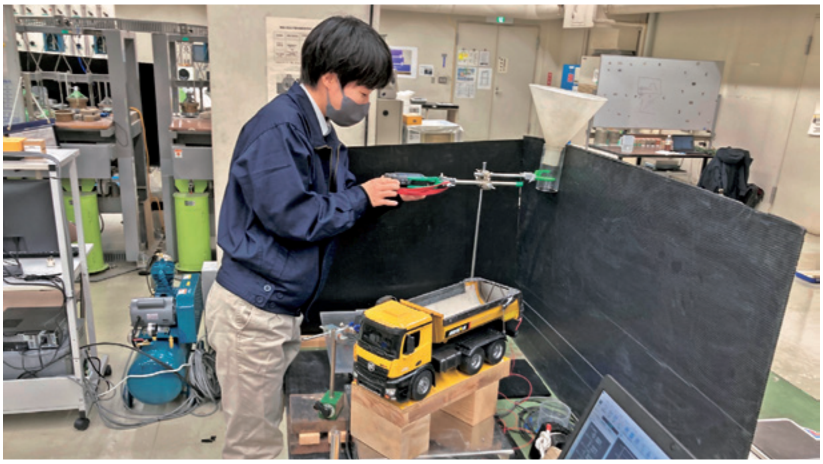
Case1 ｜ NTT 西日本グループ

- ☑ データサイエンティスト養成に向けたNTT 西日本グループとの事例。
- ☑ NTT 西日本グループ寄附講座・生涯学習特別講義「ICT ×データサイエンス」を実施。
- ☑ その後、4 カ月間、“ 社員 ” として、㈱NTT マーケティングアクト ProCX に勤務し、VOC（顧客の声）分析・コンサルティング業務を行う。

Case2 ｜ NECソリューションイノベータ（株）

- ☑ サイバーセキュリティ技術の養成に向けた NEC ソリューションイノベータ㈱との事例。
- ☑ NEC ソリューションイノベータ㈱寄附講座・生涯学習特別講義「サイバー攻撃への対策・解析講座」を実施。
- ☑ その後、4 カ月間、“ 社員 ” として、セキュリティルームで侵入テストと防御に関する課題に従事し仕様書を作成。

Case3 ｜ 鹿島建設（株）



- ☑ 鹿島建設㈱との GX/DX に関する研究業務（CO_2 吸着固定材料やロボットによる施工自動化）の事例。
- ☑ 鹿島建設㈱寄附講座・生涯学習特別講義「分野融合による DX と脱炭素」を実施。
- ☑ その後、4 カ月間、“ 社員 ” として研究・開発部門に勤務し常に現場と関わりながら新技術の研究業務に従事。

プロジェクトテーマ（研究）型

コーオプ教育のテーマに関連した学科や研究室の学生に周知。専門知識や技術を事前課題や面接で確認し、選抜された学生がコーオプ教育に参加します。

Case1 | 北菱電興(株)

- データ分析・解析技術の養成に向けた北菱電興㈱との事例。
- 研究テーマ（事前課題）を実施し、学生を選考。
- その後、6カ月間、"社員"として勤務し、北菱電興㈱から依頼された「工場で働く従業員の幸福度を向上させるための測定解析技術に関する検討」に従事。

Case2 | 不二越機械工業(株)

- 開発研究用試験機の設計に向けた不二越機械工業㈱との事例。
- 機械設計製図の基礎知識や製図法、自身の研究テーマ等を面接により確認し、学生を選考。
- その後、4ヵ月間、"社員"として勤務し、実証実験や3D-CADを使用した研磨装置の設計業務に従事。

Case3 | 大和ハウス工業(株)

- 大和ハウス工業㈱とのカーボンニュートラル貢献の耐震構造材に関する研究業務の事例。
- 小論文（レポート）を実施し、学生を選考。
- その後、4カ月間、"社員"として研究部門に勤務し、コア技術深化の為の基礎研究業務に従事。試験装置を用いた検証を通じて同技術の市場拡大に向けた取組みを実施。

プロジェクトテーマ（公募）型

コーオプ教育の内容について説明会などで周知し、学生を募集。その後、テーマに関連した専門知識や技術を事前課題や面接で確認し、選抜された学生がコーオプ教育に参加します。

Case1 | 三谷産業（株）

- 複合事業を行う企業における、事業掛合わせによる新規ビジネスの創出に向けた三谷産業㈱との事例。
- 個別面接を実施し、学生を選考。
- その後、4カ月間、“社員”として企業内学生課に勤務し、三谷産業㈱での就業体験を通して事業内容を分析し、新規ビジネスの可能性をまとめプレゼンテーションを実施。

Case2 | （株）システムサポート

- XR（クロスリアリティ）技術を用いた地方創生実現に向けた㈱システムサポートとの事例。
- XR技術力またはコンテンツ作成力のアピール等を事前課題として実施し、学生を選考。
- その後、6カ月間、“社員”として勤務し、3Dモデリングとアニメーション作成等に従事。

Case3 | CTCテクノロジー（株）

- ITインフラとサービスの実態や課題の理解と解決に取り組む人材の養成に向けたCTCテクノロジー㈱との事例。
- 個別面接を実施し、学生を選考。
- その後、4カ月間、“社員”として勤務し、ITトレンドを踏まえた上での顧客課題の理解や、課題解決に向けた実際のクラウド環境構築に従事。

企業

通常の業務では、なかなか手を付けられなかった課題に取り組むことができた。

企業側としても業務遂行のプロセスを考え直す機会につながった。

専門分野の学生に来てもらえたので、作成した手順書はすぐに業務に活用できた。

通常のインターンシップに比べて、より学生の思考や行動への理解が深まった。

参加企業からの声

コーオプ教育の「ココがよかった！」

学生と取り組む社員は、責任感の醸成等、様々な教育的効果があり、社員の人間力向上につながった。

学生間で引継ぎをしながら新しい学生が来ることで、学生と企業のつながりに深みが増し継続することに価値を感じた。

多様な考え方を歓迎する企業風土の醸成につながった。

もっとコーオプ教育が広がれば、学生全体のレベルアップにつながり、社会貢献にもなると感じた。

大学

授業で身につけた能力が、社会で活用できるかを試すことができる

さらに知識・技能が向上する
自身で成長度合を測定できる

上司と面談する機会がある

仕事への意識の変化
今後のキャリアプラン

複数社員からのフィードバックを得られる

社会人としての成長

参加学生からの声

コーオプ教育の「ココがよかった！」

納期に合わせた進捗管理が身につく

常に進捗管理と実施のマルチタスク業務

答えの無い問いに取り組む

仕事観をつかむことができる

正社員と同じ扱いを受けられる

お客様としてではなく
社員として接する
対等な立場での業務

新たな産学連携を目指して

金沢工業大学 建学綱領
人間形成・技術革新・産学協同

産業界と " 共同と共創 " の関係を強固なものとして築き「共進する」という考え方のもと、持続可能な未来社会の実現を目指します。

1 共創教育
世代・分野・文化

2 共創研究
共同研究・共創ラボ・起業

共進
イノベーション

3 人材育成
KITコーオプ教育
KITリカレント教育

4 ブランディング
教育研究成果
社会的インパクト

教育・研究・KITコーオプ教育プログラムの連携

- KITコーオプ教育プログラムと組み合わせ、「新たな産学協同のプラットフォーム」を実現
- 新たな製品・サービス・独自ブランドを産業界と共に創る人材の育成システムを構築

社会実装型の教育実践と研究開発へと発展させ、次世代を担う若きリーダーを育て、我が国の “Society5.0 ならびに SDGs の振興と推進 ” に寄与します。

KIT
金沢工業大学
進路開発センター
〒 921-8501
石川県野々市市扇が丘 7-1
TEL : 076-294-6700
Mail：intern@kanazawa-it.ac.jp
Web：https://www.kanazawa-it.ac.jp/career/

ミックス
紙 | 責任ある森林管理を支えています
FSC FSC® C013678
GREEN PRINTING JFPI P-B10282
この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。
2403